

# 北九州リハビリ報告

北九州市議会議員 保健病院委員長 中村よしお市政報告誌

## トピックス

平成20年度予算：子育て支援予算充実 生活保護費35億円増額

### いよいよ4年目に突入！

いよいよ中村よしお4年目の議員活動に入りました。昨年北橋市長が就任して以来、私が力を入れている福祉施策が重点化され大変やりがいを感じています。

私の専門でもある医療の分野では市立病院経営が大きな問題になっています。平成18年度は7億円の赤字、平成19年度は10億円近い赤字が見込まれ、平成21年度には資金剰余額(貯金)がマイナスになる可能性大です。



これからも、医療・福祉の専門職である作業療法士の経験や視点を生かして、また医療・福祉・子育てを管轄する保健病院委員会の委員長として頑張っ

#### 目次：

いよいよ4年目に突入！	1
市立若松病院もピンチ！	1
北九州市の財政状況	2
財政再建策は？	2
平成20年度予算概要	3
プロフィール	4
一般質疑報告	4

### 市立若松病院もピンチ！

市立門司病院に続き若松病院も運営が非常に厳しい状況になってきました。若松病院の内科医が5月末で全員退職し、**6月からは内科の入院が出来なくなる予定です。**市立病院の中で若松病院の役割は若松区唯一の総合病院ということです。「内科のない総合病院」って聞いた

ことがありますか？

門司病院・若松病院共に平成15年に約50億円をかけて立て替えられたばかり。**借金は50億円ずつ残っています。5年もたたないうちの経営破綻！**

やはり医療専門議員は必要だと改めて感じました。



**内科のない総合病院！？  
市立若松病院  
どうなる？  
50億円の借金！！**

## 北九州市の財政の特徴

北九州市の1年間の予算は約1兆2,000億円、借金は1兆4,000億円です。

歳入は自主財源である市税収入が政令指定都市で2番目に低く、国からの仕送りである地方交付税等は実質政令指定都市で一番高い状況です。言い換えれば**政令指定都市の中で国からの仕送りに一番依存している**といえます。

小泉元首相の下、三位一体改革が行われ、平成15年度1,000億円が平成19年度には640億円で**4年間で約360億円、地方交付税等が減らされました**。このことが北九州市の財政に大きなダメージを与えています。

歳出は少子高齢化が進み、今後益々医療・福祉関係費が増えてきます。また、今までのコムシティやAIM等の大型公共投資のつげが回ってきています(下段記載)。

**毎年の公債費(借金返済額)は平成21年をピークに増加していきま**す。このまま**何も財政再建策を講じないと平成22年には年度末基金残高(年度末収支)が498億円の赤字となり、財政破綻状況になってしまいます**。

(北九州市の場合478億円以上の赤字になると夕張市同様、財政再建団体となります)



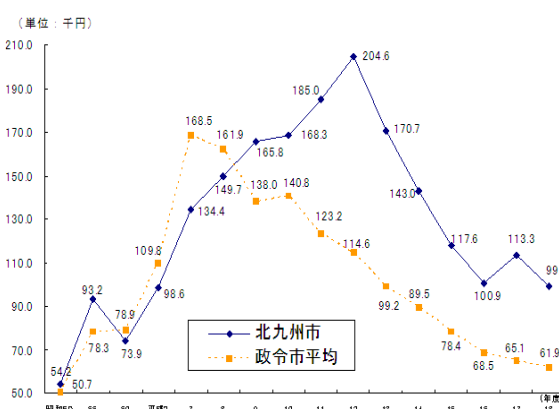
昨年「財政破綻」の大見出しで報道されました

## 財政が厳しい原因のひとつ:いままでの大型公共事業重視の政策

左は道路や箱物にかかる公共投資費用を表す投資的経費のグラフです。

多くの政令市はバブル崩壊後の平成7年以降減らしていますが、北九州市は平成12年まで増やし続けています。**平成12年には政令市平均の約2倍、平成18年でも1.6倍と依然高い割合**です。

投資的経費の内訳をみると、学校関係の投資的経費は他の政令市レベルですが、道路等を作る土木費は他の指定都市より、非常に高い割合になっています。



## 財政再建策は？

平成21年が公債費(1年間の借金返済額)のピーク、平成22年が財政破綻のピンチの年です。これ乗り越えるために、**毎年100億円の経営改善および基金(貯金)の取り崩しでなんとか乗り越えようとする計画**を立てました。平成14年に526億円あった基金(貯金)残高は平成22年には12億円になる予定です。

＜主な経営改善策＞

- ・職員数の削減と人件費総額の抑制
- ・「一般競争入札の拡大」等公共調達改革
- ・外郭団体等、事務事業の見直し
- ・公共投資の重点化・抑制 他



**北橋市長の財政再建策には40億円のマニフェスト実現枠が付いています。非常に苦しいやりくりになると思いますが、なんとか平成21・22年を乗り越えなければなりません！**

## 平成20年度予算概要 基金(貯金)過去最高の取り崩し！

<全会計の予算規模>

一般会計	5,041億円	(対前年度 12億円減)
普通特別会計	5,462億円	(対前年度 804億円減)
企業会計	1,329億円	(対前年度 51億円増)
合計	<b>1兆1,833億円</b>	(対前年度 765億円減)
市債(借金)残高	<b>1兆3,921億円</b>	

<歳入>

地方交付税等(国からの仕送り)	624億円	: 前年度より16億円減
市税収入(自主財源)	1,696億円	: 前年度より2億円増
市債(借金)発行額	435億円	: 前年度より24億円減

国からの仕送りである地方交付税が16億円減り、自主財源も伸び悩み、非常に厳しい状況です。一般会計ベース**対前年度133億円減の経営改善**を行い、貯金にあたる**財政調整基金等を過去最高の291億円取り崩して**これを乗り越える予算になっています。

## 歳出の特徴

生活保護費大幅増！  
35億円！！  
公共事業は大型投資から生活に身近な分野へ転換！！  
地元にお金が落ちる公共事業へ！！

義務的経費(人件費、扶助費、公債費)

2,336億円(対前年度34億円増)

扶助費が**35億円増えています。これは生活保護受給者が増えることが予想されるため**です。

投資的経費(公共事業等)

692億円(対前年度53億円減)

都市基盤整備型公共事業	493億円	: 対前年度 13.1%減
市民生活密着型公共投資	199億円	: 対前年度 12.3%増

北橋市長の公共事業は「都市基盤整備(大型公共投資)」中心の公共事業から子育て、教育、身近な道路、公園など「**市民の身近な分野**」への思い切った重点化を図っています。

ただし、新若戸道路等、物流ネットワークの構築や**企業誘致促進**等のための道路・港湾重点的な整備は行うこととしています。

また、**地元中小企業対策**として、小規模で地元企業を中心とした発注が見込まれる市民に身近な分野の公共事業を15億円新設・拡大しています。

## お金がないながらも、マニフェスト実行！ 子育て支援予算充実！！

### ・放課後児童対策の拡充 (いわゆる「全児童化」)

現状の3年生までの低学年かつ留守家庭という条件を撤廃し、6年生までの希望する全ての児童を対象とする。平成22年度までの3年間で整備します。

### ・障害のある小中校生の放課後対策の拡充

利用者見込み  
⑨70人/月→⑩430人/月

### ・親子ふれあいルーム整備

### ・妊婦検診の充実

妊婦検診の公費助成回数を3回から5回へ拡充します

### ・35人以下学級の実施

小学1年生および中学1年生について35人以下学級とする少人数学級を導入します

### ・中学校洋室暖房設置

全中学校の普通教室において暖房を実施します

### ・AED(自動対外式除細動器)の小中学校全校に設置

### ・中学校完全給食モデル事業

平成20年末までに今後の方向性を検討し、実施に向けて今後の方針をだします



平成20年度予算説明をする北橋市長



# 北九州市議会議員 保健病院委員長 中村よしお

事務所

住所 〒802-0043

北九州市小倉北区足原2丁目1-39

電話 093 (932)8533

Fax 093 (922)8277

Email nakamura-y3226@nifty.com



## <中村よしおプロフィール> 政党は無所属です

- 昭和39年5月12日生まれ(43歳) 作業療法士(リハビリの専門職 23年目)
- 徳香幼稚園、横代小学校、横代中学校、小倉南高校を経て国立療養所福岡東リハビリテーション学院作業療法学科を卒業(作業療法士免許取得)
- 民間医療機関で作業療法士として7年間勤務
- 北九州市を現場の声が伝わるまちにしたいと思い、北九州市役所に入職(10年間勤務)
- 歳をとっても、障害があっても安心して住めるまちにするために市役所を退職し、2005年1月の北九州市議会議員選挙に挑戦、初当選
- 現在の役職・・・保健病院委員長(保健福祉局・病院局・こども家庭局所管)、北九州市立霧丘中学校PTA会長、(社福)北九州市社会福祉協議会評議員、小倉南北ソフトボール連盟会長、小倉南北バレーボール連盟会長、小倉リトルシニア父母会副会長、勝山足立ライオンズクラブ会員、(社)福岡県作業療法協会顧問、小倉北消防団第3分団顧問

## 5回目の一般質疑 小倉北消防署を立て替えよう！！

議員になって5回目の一般質疑を3月4日に行いました。1回目は殆ど福祉のみの質問でしたが、今回は気づいてみると多岐にわたった質問になっていました。知らないうちに議員として少し幅が広がってきたかもしれません。

### <質問内容>

- ①消防行政について
- ②市立病院の経営について
- ③障がい者のホームレスに対する支援について
- ④(仮称)親子ふれあいルーム(子育て広場)について
- ⑤農業従事者不足の対策について
- ⑥子供たちがサッカーをしているグラウンドの芝生化について

消防行政については消防職員をこれ以上削減しないように訴えました。

また、**建設後50年以上経つ小倉北消防署の建て替え**を質問しました。小倉北消防署は火災・救急件数共に7消防署一の出勤件数です。大規模地震で消防署がつぶれてしまえば大惨事になります。老朽化の問題だけでなく、戸畑消防署の1/3と敷地が狭く訓練もできません。また車輛駐車場が歩道に面しているため、ブレーキテスト等、毎日必要な点検も十分に出来ません。

今年の秋には小倉北警察署が移転するためその跡地に消防署を移転すれば場所の問題も解決します。

**小倉北区の市議会議員としてぜひ小倉北消防署の建て替えを実現したいと思います。**



車庫の前は歩道。点検も出来ません



天井は雨漏り



ひび割れ多数、地震に耐えられる??